

Ⅲ 「教育の日」の制定状況と事業の充実についての調査

都道府県退職校長会のご協力によるアンケート調査集計結果の概略

1. 未制定府県（12府県、回答10府県）の平成26年12月以降の現状

- A. 平成26年12月以降、新たに制定された府県なし。
- B. 制定の見込みが出てきたとの回答が2県よりあり。
- C. 制定の見込めない8府県のうち1県が関係機関へ要請を続けると回答。

*全連退の「教育の日」制定に関する活動は、47都道府県退職校長会の80%の賛意を得て平成10年度から具体的に開始され、現在は74.5%の制定率（準制定県を含む）である。

2. 新たに制定された市町村 （「制定状況」に掲載）

- ・5市・2町・1村で新たに制定された。
- *市町村での「教育の日」制定は、毎年連続して増加している。

3. 「教育の日」制定都道府県の現状調査

(1) 「教育の日」主催者による県民への周知方法 （回答31）

- ・チラシ・パンフレット・ポスター等を全学校へ配布。 (14)
- ・県教育委員会等のホームページ (10)
- ・地元新聞・テレビ等。 (8)
- ・県の広報紙に掲載。 (4)
- ・「教育の日」推進大会実施でアピール。(2)
- ・啓発用懸垂幕を県庁舎・教育事務所・学校・駅前等に掲げる。 (1)

*「教育の日」の関連の行事（大会や学校公開授業など）の周知については、一般県民へのアピールが弱い感じである。

*推進大会は多くの県で実施されているが回答

は2県であった。啓発用懸垂幕の掲揚は一般県民への周知のインパクトを感じる。

(2) 「教育の日」の行事に関する現職校長・校長会の関心・協力状況（回答28）

- ・「教育の日」関連行事の学校での実施。(18)
- ・「教育の日」推進大会参加。(14)
- ・「教育の日」推進大会企画・運営等の役員として参加。(6)
- ・関心を持って関わる。(2)

*過去の調査では、「教育の日」関連行事は回答された28の県すべてで実施されている。

(3) 「教育の日」の諸行事への退職校長会の関わり（回答28）

- ・「教育の日」推進協議会の主要な役員として企画・運営に関わる。(7)
- ・「教育の日」推進協議会の委員として大会参加。(8)
- ・県退職校長会の活動方針の1項目に教育の日制定の趣旨を生かす「学校支援」を取り上げている。(2)

・県退職校長会が主導してきた教育の日制定協議会（教育関係34団体）による「制定記念フォーラム」を県教委が担当することになり協議会が解散した。退職校長会として教育の日にどう対応するか議論を始めている。(1)

- ・特に関わりはない。(13)

*「教育の日」が制定されたあと退職校長会として「教育の日」関連事業にどのように関わるかを考えることも大切な課題といえる。

(4) 地元国会議員への「教育の日」制定に関しての要望の可否

要望可能との回答のあった17県の退職校長会へは、該当の国会議員宛に、全連退会長・県退職校長会会長連名の要請文を必要部数お送りした。要望の効果が期待でき、ご協力に感謝申し上げます。

2015年 名張市の教育フォーラム

三重県退職校長会

2015年11月14日（土）第5回「教育フォーラム in なばり」が名張市教育センターで開催された。名張市は県内唯一「教育の日」に準ずる行事を行っている。三重県退職校長会では、県を始め市長並びに教育長に「教育の日」制定の働きかけを行っている関係で、その実際を知っておきたいと、会長と名張市の理事で会場を訪問することにした。

名張市は三重県の西部奈良県に接する盆地にある。当日は伊勢平野は小雨だったが青山トンネルをくぐると雨は止んでいた。開会10分前に到着、笑顔に迎えられさっそくメイン会場の大研修室に案内された。既に席は8割は埋まっていた。

まずは主催者の市長の挨拶さらに来賓代表の市議会議長挨拶。市長は教育の重要性を語られると共に、今後の小中一貫教育推進を取り上げ、小学校を4年、中学校を5年とする新制度に切り替えていく方針を明確に述べられたのには驚いた。他市町ではまだこれから検討という時期に、市民の前で公約されたのである。

会場には、来賓として市議会議員のほとんどの方が出席しておられるのにも感心した。

次いで表彰式、「第8回なばり本の帯コンクール」[中学生のメッセージ2015]、前者は別室に展示され、後者はこの会場で発表された。

その後、本会会員でもある上島教育長から「名張市子ども教育ビジョン」の進捗状況についての報告がなされた。達成状況が具体的にスクリーンに次々に映し出され、一般市民にもよくわかる内容であった。午前の最後は講演会



「小中一貫教育の意義と可能性」の演題で京都産業大学教授西川信廣氏の講話があり、市長の挨拶と関連したものであった。

午後はこの会場では「伝えよう！人とのつながりメッセージ表彰式」が行われ、多目的スペースの会場では「教育実践発表」と北中学校のウインドアンサンブル部演奏が行われた。教育実践発表は箕曲小学校（学ぶ楽しさを実感できる算数科の授業）、桔梗が丘東小学校（子どもどうしがつながる授業づくり）、北中学校区（魅力ある学校づくり調査研究事業実践報告）であった。

その他、すべての部屋を利用して、子どもたちが喜ぶものづくりやパソコン操作などの体験コーナーが終日設けられていた。また廊下の一部には、特色ある取り組みをしている小中学校の紹介写真パネルが掲示されていた。また軽食も販売されており、家族で来館し、一日楽しく過ごせるようになっている。

お世話をしているのは行政や教育関係者だけではない。各種のボランティアが活躍している。参加者は、多種多様、まさに市が、総力挙げて教育の振興を図るイベントに仕上げていることが実感できた。

この事業のスタートは2011年、それ以前より人口減少が進み廃校となる学校もいくつも想定される時期、地域の未来を背負う子どもたちを元気づけ、夢や希望、誇りを持たせるために、地域の住民すべてが教育に関心を持つ一つの機会を作る必要があると考えたのが上島教育長であり、内部を固めると共に市長と相談し議会の承認を経て具体化していったと考えられる。

翌年の第2回のフォーラムは午後だけであったが、駐車場も広く自然に恵まれた新しい教育センターに会場を移してからは全日の行事とし、当初の基本とする日程は継続しながらも、新しい提案も取り入れて次第に充実させて今日を迎えたのであろう。

条例や要綱を作らなくてもリーダーの決意で実施できる事業の形もあることを知った。

本会会員で当地のボランティアのリーダーに見送られ温かい気持ちで会場を後にした。

「教育の日」の制定状況（平成27年12月現在）

— 35都道県、102市、61町、10村、1区 —

○北海道地区 制定—北海道

（北海道）石狩市 岩見沢市 小樽市 帯広市 苫小牧市 函館市 砂川市 稚内市
滝川市 赤平市 旭川市 白老町 豊頃町 本別町 幕別町 月形町 今金町
陸別町 大樹町 池田町 浦幌町 上砂川町 音更町 中札内村

○東北地区 制定県—青森県 岩手県 宮城県 秋田県 福島県 山形県

（青森県）野辺地町（秋田県）大館市 男鹿市
（山形県）上山市 新庄市 天童市 山形市 山辺町 朝日町（福島県）浅川町

○関東甲信越地区 制定県—茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 東京都 長野県

（茨城県）ひたちなか市 土浦市 守谷市 稲敷市 牛久市 龍ヶ崎市 筑西市 結城市
阿見町 河内町 利根町 茨城町 大洗町 城里町 東海村 美浦村
（群馬県）前橋市 渋川市 藤岡市 沼田市 明和町 神流町
（埼玉県）白岡市（千葉県）佐倉市 銚子市 野田市 南房総市 鋸南町
（東京都）あきる野市 葛飾区（山梨県）甲府市 中央市（新潟県）上越市

○東海北陸地区 制定県—石川県 岐阜県 静岡県

（静岡県）掛川市（福井県）福井市 敦賀市（三重県）名張市

○近畿地区 制定県—滋賀県 兵庫県 奈良県 和歌山県

（滋賀県）栗東市（奈良県）奈良市
（和歌山県）和歌山市 海南市 橋本市 有田市 田辺市 新宮市 岩出市 紀の川市 紀美野町
かつらぎ町 九度山町 高野町 広川町 由良町 有田川町 美浜町 日高町 みなべ町
印南町 白浜町 上富田町 すさみ町 串本町 那智勝浦町 太地町 古座川町 湯浅町
日高川町 北山村

○中国地区 制定県—島根県 岡山県 広島県 山口県 鳥取県

（鳥取県）鳥取市 南部町（広島県）三原市 府中市 東広島市 世羅町
（山口県）美祢市 萩市 宇部市 和木町

○四国地区 制定県—徳島県 香川県 愛媛県 高知県

（徳島県）美馬市 三好市 鳴門市 つるぎ町（高知県）安芸市 三原村

○九州地区 制定県—長崎県 熊本県 大分県 鹿児島県 宮崎県 沖縄県

（福岡県）筑後市 宗像市 八女市 糸島市（佐賀県）嬉野市 唐津市 多久市 神崎市
小城市 佐賀市 伊万里市 武雄市 玄海町（熊本県）八代市 荒尾市 宇土市
宇城市 合志市 大津町 美里町 和水町 氷川町（大分県）宇佐市 国東市 佐伯市
津久見市 日田市 豊後高田市 別府市 杵築市 玖珠町 九重町 姫島村
（宮崎県）串間市 日向市 日南市 都城市 宮崎市 高岡町 三股町
（沖縄県）浦添市 宮古島市 那覇市 石垣市 糸満市 南城市 名護市 うるま市
沖縄市 宜野湾市 南風原町 西原町 八重瀬町 金武町 伊是名村 恩納村 中城村
読谷村

※上記中、岐阜県は「教育週間」、静岡県は「家庭教育の日」、兵庫県は「兵庫の教育推進月間」、長崎県は「長崎っ子の心をつめる教育週間」、鹿児島県は「地域が育む“かごしまの教育”県民週間」、宮崎県は「みやざき子ども教育週間」と呼ぶ。

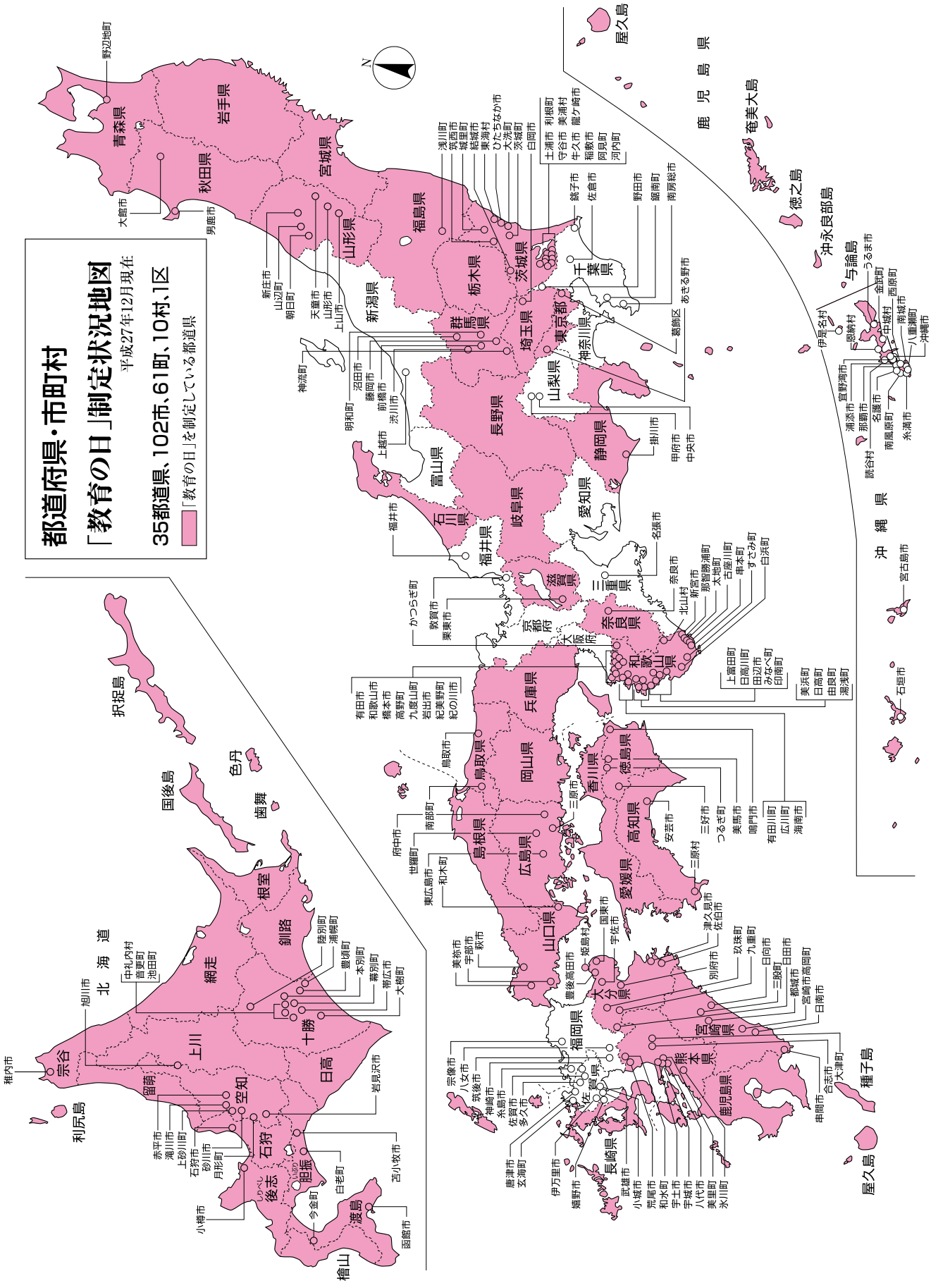
都道府県・市町村

「教育の日」制定状況地図

平成27年12月現在

35都道県、102市、61町、10村、1区

「教育の日」を制定している都道県



種子島

鹿久島

種子島

鹿久島

種子島

鹿久島